舌圧測定データ表示用ソフトウェア

測定データの視認性向上

デジタル舌圧計から送信された舌圧測定データをパソコンへ出力し、
デジタル数値、波形グラフ、並びにレベルサインとして表示します。

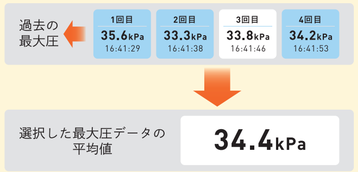
舌圧測定データ表示用ソフトウェアダウンロードページ
http://orarize.com/zetsuatsu/download.php

目標圧設定可能

患者毎に目標となる圧を
設定する事ができます。

平均値算定可能

複数回測定した舌圧値を選択し、
最大圧データの平均値を算出する
事ができます。



各種印刷形式対応

測定結果を一覧形式、分割形式と様々
な形式にて印刷する事ができます。

規格一覧

品番	型式	JANコード	梱包単位
JM-TPM02E	TPM-02	4987494342198	1台
J F-TPP	舌圧プローブ	4987494073610	25本
J F-TPT5	連結チューブ	4987494346370	5本

ご使用になる場合、上記全ての製品が必要となります(全て別売りです)。
舌圧プローブ、連結チューブは品番JM-TPM、JM-TPM02にもご使用いただけます。

仕様一覧

項目		仕様
一般的名称		舌圧測定器
医療機器承認番号		22200BZX00758000
販売名		JMS舌圧測定器
型式		TPM-02
使用電源		単三形アルカリ乾電池×2又は、単三形ニッケル水素充電池×2
電気的定格	電圧	DC3V(単三形アルカリ乾電池2本使用の場合) DC2.4V(単三形ニッケル水素充電池2本使用の場合)
	測定可能回数	約2,500回 (新品の乾電池又は充電池を使用し、室温で1か月間以内での使用の場合)
耐用期間		5年(加圧ポンプ作動回数として約45,000回)
寸法		74(W)×120(L)×27.5(H) mm
内圧調整機能	内圧設定値	19.6kPa(内圧調整後、自動的にゼロ点表示)
	内圧調整時間	20秒以内
	内圧調整精度	±1kPa(但し、内圧設定値19.6kPaにおいて)
測定機能	圧力表示単位	kPa
	圧力表示範囲	-9.9～99.9kPa(但し、内圧設定値19.6kPaをゼロ点とする場合)
	測定精度	±1kPa(但し、内圧設定値19.6kPaをゼロ点とする場合の0.0～80.0kPaにおいて)
	圧力表示方式	デジタル数字及びバーグラフ(レベルサイン)
電撃保護形式		内部電源機器 BF形装着部
防滴性		IPX0
外部出力機能		USB(データ送信のみ)
オプション		舌圧測定データ表示用ソフトウェア
クラス分類		管理医療機器
付属品		USB通信ケーブル、収納ケース、単三形アルカリ乾電池2本、 取扱説明書

製品の仕様及び外観は改良のため予告なく変更することがあります。

お口の情報室

口腔機能の情報を提供する学術サイトです。
ＪＭＳ舌圧測定器特設ページより、
舌圧測定データ表示用ソフトウェアのインストーラを
ダウンロードいただけます。
http://orarize.com/

こちらより
お口の情報室を
ご覧いただけます。

製造販売業者
株式会社 ジェイ·エム·エス
〒730-8652 広島市中区加古町12番17号
お問い合わせ先
カスタマーサポートセンター
☎0120-923-107　csc@jms.cc

2019.04.10XA221-IB
2022.05.000A221-IB

JMS
人と医療のあいだに…

JMS舌圧測定器
TPM-02

デジタル舌圧計が
コンパクトになって
新登場。

Orarize オーラライズ

JMS舌圧測定器は、舌の運動機能を最大舌圧として測定する機器です。

本品による測定値は、摂食嚥下機能評価等に関連する口腔機能検査の指標となります。
舌圧プローブ、連結チューブ、デジタル舌圧計で構成されます。

1 特徴 小型ポータブル

幅74mm、高さ120mm、厚さ27.5mmの為、
片手で簡単に保持できます。
場所を問わず、何処へでも持ち運びがしやすい
大きさとなっています。

2 特徴 簡単操作

必要な操作ボタンは、「電源ボタン」と
「測定/リセットボタン」の2つのみとなっています。

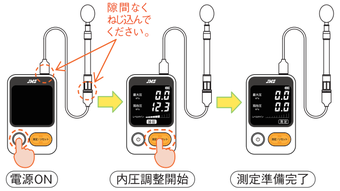
3 特徴 大型液晶パネル

最大圧と現在圧、そして測定時のレベルサインが
大きく表示されるため、測定結果の確認や
患者へのフィードバックがしやすくなっています。

使用方法

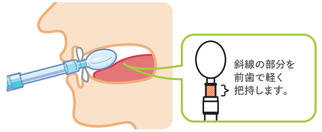
STEP 1 各構成品を接続し、スタンバイ状態にする

デジタル舌圧計、舌圧プローブ、
連結チューブを接続し、
内圧調整を行います。



STEP 2 舌圧プローブを口腔内に挿入する

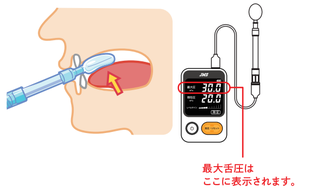
舌圧プローブを患者の口腔内に挿入し、
舌圧プローブの硬質リングを
前歯で軽く把持するように指示します。



バルーンを噛まないでください。
斜線部を強く噛まないでください。

STEP 3 最大舌圧を測定する

数秒間（7秒を目安）舌でバルーンを
押し潰し続けます。



舌圧プローブは再使用禁止です。

注）ご使用に際しては、添付文書並びに取扱説明書をお読みください。

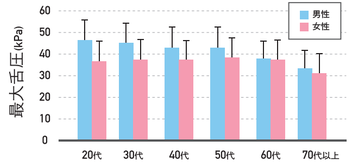
使用上の注意

本品は、以下の患者に対しては、最大舌圧の測定又はその動作が困難と考えられるため、適応ではありません。なお、患者の状態により適応可否の判断が困難な場合は、医師又は歯科医師が状態を確認した上で、必ずその指導の下、安全を確認しながら使用してください。

1. 測定者の指示が認識できない患者（例えば、認知症、失語症、失認証、高次機能障害であって、測定者の指示が 認識できない患者、乳幼児、知的障害者等）
2. 前歯で舌圧プローブを把持することができない患者（例えば、無歯顎者であり、且つ義歯装着をしていない患者等）
3. 舌圧プローブを押し潰せない患者（例えば、舌を全く動かせない患者等）

最大舌圧の基準値

健常成人853名を対象にした最大舌圧の大規模調査の結果、最大舌圧は加齢に伴い減少すること、また50歳代以下の若年群では性差があり、60歳代以上では性差がなくなることが明らかとなりました。この結果を基にして、健常成人における最大舌圧の基準値が示されています。



年代別・男女別の最大舌圧の平均値

平均±標準偏差		
成人男性	（20～59歳）	45±10
成人女性	（20～59歳）	37± 9
60歳代	（60～69歳）	38± 9
70歳以上高齢者		32± 9

(kPa)

Utanohara Y, Hayashi R, Yoshikawa M, et al: Standard values of maximum tongue pressure taken using newly developed disposable tongue pressure measurement device, Dysphagia, 23: 286-290, 2008.

最大舌圧の目安

健常成人や要介護高齢者の最大舌圧のデータから、最大舌圧の目安が示されています。嚥下障害患者の最大舌圧も含めて考慮すると、舌の運動機能に問題があることを疑う最大舌圧は20kPa未満であることが推察されます。

最大舌圧の目安		
成人男性	（20～59歳）	35～
成人女性	（20～59歳）	30～
60歳代	（60～69歳）	30は欲しい
70歳以上高齢者		20は必要

(kPa)

出典：津賀一弘：簡易型舌圧測定装置を用いる最大舌圧の測定，『顎口腔機能の評価』，日本顎口腔機能学会，41-44，2010.

診療報酬

JMS舌圧測定器は、舌圧検査を算定するための特定診療報酬算定医療機器です。

歯科診療報酬

D012 舌圧検査（1回につき）140点

1. 舌圧測定を行った場合は、3月に1回に限り算定する。
2. 舌接触補助床又は口蓋補綴、顎補綴を装着する患者若しくは広範囲顎骨支持型装置埋入手術の対象となる患者に対して舌圧測定を行った場合は、月2回に限り算定する。

厚生労働省ホームページ：令和2年度診療報酬改定関係資料より一部抜粋改変